

冬山登山の警告文

冬山の三大リスクに備えましょう

「吹雪」「雪崩」「滑落」に注意

平成30年12月

山岳遭難対策中央協議会

近年ではバックカントリースキーやアイスクライミング、スノーシューハイク等、冬山の楽しみ方も増え山は賑わいを取り戻しています。

その一方で、毎年、冬山では悲しい遭難事故が起こっています。その原因の多くは「吹雪」、「雪崩」、「滑落」です。吹雪は視界を奪い方向感覚を狂わせるだけでなく、体力や気力も奪います。雪崩は簡単に人を飲み込み、押し流してしまいます。また、固く凍った雪の斜面は死の滑り台になることがあります。

冬山登山はレジャーの延長線上にはありません。そこは、トレーニングを積んだ登山者だけが立ち入れる厳しい場所です。

雪に覆われた厳しい冬山で安全に登山を楽しむために、次のことに留意してください。

○吹雪から身を守る装備を持ちましょう

寒冷に耐えることができるウェアを着用し、ツェルトや火器等のビバーク装備も携行しましょう。視界不良時には地形図、コンパス、GPSが頼りになります。スマートフォン用の登山地図アプリも現在地を知るためには有効です。また、引き返すことを想定し旗竿やカラーテープ等で目印を付けながら歩くことも大事です。

○雪崩を警戒しましょう

雪の斜面では常に雪崩を警戒しましょう。豊富な知識と経験があっても雪崩を完全に予測することは困難です。装備を揃えて使い方をマスターするだけでなく、積雪を観察し、地形を読んで、慎重に行動しましょう。たとえ好天時でも油断しないで冬山に入ってください。

○ちょっとした転倒が大きな滑落事故につながります

急斜面では転倒した次の瞬間にはどんどん加速して、止めることができないスピードになってしまいます。歩行に少しでも不安がある場所ではロープを利用しましょう。

○初心者だけの入山は控えましょう

吹雪や雪崩はあなたが初心者であっても手加減はしてくれません。初心者の方は必ず経験豊富なリーダーや山岳ガイドと一緒に登りましょう。

○十分なトレーニングを行いましょ

夏山で体力を強化しましたか？春山で残雪を歩く練習をしましたか？地形図や天気図を読むことができますか？十分なトレーニングによって山頂での達成感と冬山登山の安全性を倍増させましょう。

○冬山の難易度は天候で変化します

ガイドブック等で初心者コースと紹介されていても、天候が悪化すれば上級者でも歯が立たなくなるのが冬山です。ルート状況や天気予報等の情報を集めて、自分たちのレベルと慎重に照らし合わせて進退を判断してください。

* 高校生等の冬山登山は原則禁止です。詳細は、「高校生等の冬山登山の事故防止のための方策について(平成29年11月28日/高校生等の冬山・春山登山の事故防止のための有識者会議)」をご覧ください。

【山岳遭難対策中央協議会構成省庁・団体】 (太字は「幹事会」構成省庁・団体)

内閣官房 警察庁 環境省 気象庁 消防庁 林野庁 総務省 防衛省 **スポーツ庁**
(独)日本スポーツ振興センター (株)NTT (株)JR東日本 (公財)日本スポーツ協会
(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会 群馬県 山梨県 静岡県 富山県 長野県

山岳遭難が多発しています!!

もう一度点検 計画と対応力

冬の自然は厳しく、急変します。冬山経験豊富な信頼できるリーダーと、事故に対応できる力を持ったパーティーであることが必要です。

- 1 登山計画書はパーティー全員でよく検討し、作成しましたか。
- 2 エスケープルート（万一の時の逃げ道）は考えていますか。
- 3 最新の気象情報を確認していますか。（携帯電話、ラジオ等）
- 4 応急処置のための知識と医薬品・器具は整えましたか。
- 5 雪崩に対する知識・心構えと装備は整えましたか。（雪崩ビーコンなど）
- 6 緊急時の連絡手段は準備しましたか。（無線機、携帯電話などの予備バッテリーも忘れずに！）
- 7 山岳保険の加入は済みましたか。
- 8 事故多発！登山予定の山で発生した過去の事故を確認しましたか。
- 9 条例等で入山が規制されている地域でないか確認しましたか。

登山計画書はあなたを守る命綱

【登山計画書の提出】

- 安全登山のための自己点検の機会となります。
- 山岳遭難の発生を警察が認知できた段階で、遭難した山域を早期に特定することが可能となり、捜索救助活動が迅速かつ合理的に行われます。
- 捜索救助活動にかかる膨大な社会的及び個人的負担を軽減させることができます。
- 家族や関係者を安心させることができます。

【提出先】

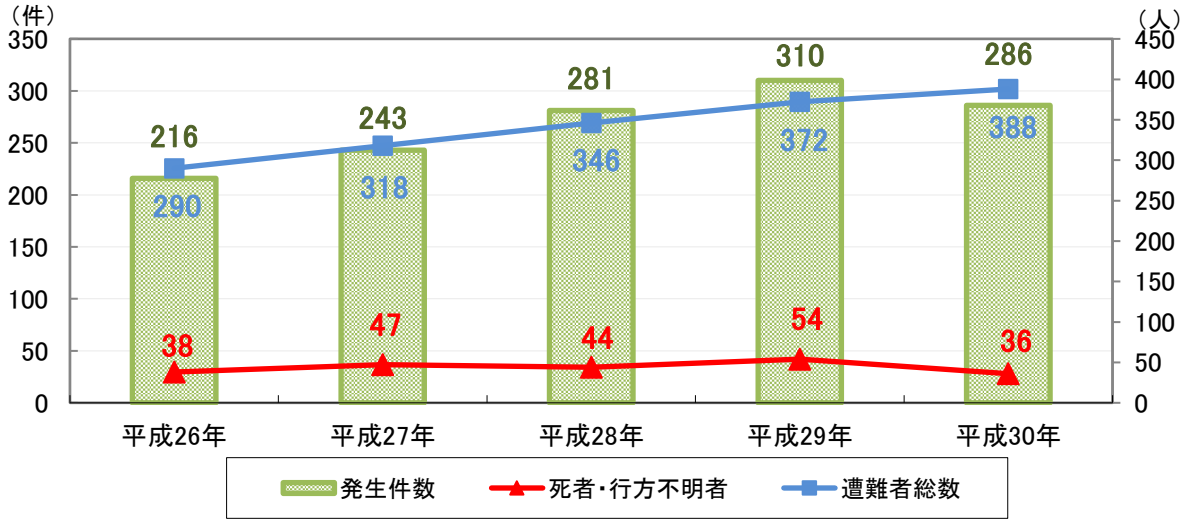
- 知事等（登山計画書の提出が条例で義務化されている場合）
- 家庭、クラブ（山岳会）、職場、学校など
- インターネットの登山計画サイト（山と自然のネットワーク「コンパス」など）
- 山域の登山指導センターや案内所、登山口の登山届ポストなど
- 山域を管轄する警察本部または警察署など
（インターネットを使って申請ができる警察本部等もあります。）

これまでも登山計画書を提出したことにより、早期に救助できたという事例が数多くあります。登山計画書を提出するということは、あなたを守る命綱であると考えて必ず実行しましょう。また、登山計画書の提出先には、下山の報告を忘れずにしてください。

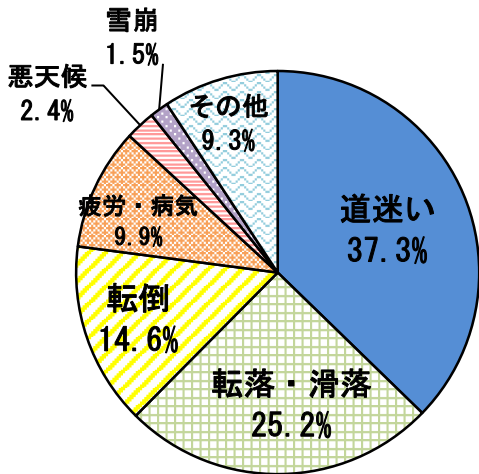
冬山における山岳遭難発生概要

過去5年間における山岳遭難発生状況

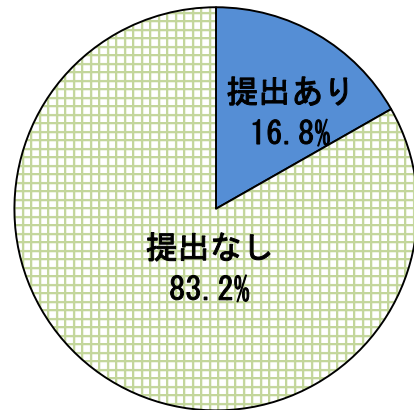
※平成30年の数値は暫定値
 ※この頁における「冬山」とは、12月～2月をいう。
 例：平成30年⇒平成29年12月～平成30年2月



【過去5年間の遭難態様の状況】



【過去5年間に遭難したパーティーの登山計画書提出状況】



道迷い、転落・滑落、転倒に注意しましょう！

◎ バックカントリースキーによる遭難が多発！

近年、警告表示等に従わずコースを外れたスキーヤーやスノーボーダーが、スキー場管理地以外の雪山において遭難するケースが多発しています。このようないわゆるバックカントリースキーは、冬山登山と同様の知識・技能・装備が必要です。安易な行動は厳に慎んでください。

最新の気象状況把握が冬山登山の命綱

～大雪、なだれ、急激な気象変化などに細心の注意を～

冬山の天気は、平地とは比較にならないくらい急激な変化をし、悪天が数日継続することも少なくありません。特に低気圧が通過し、その後、強い冬型の気圧配置になる場合、暴風や吹雪、短時間での大雪、なだれ、急激な気温低下により命を奪われるような遭難につながるおそれがあります。**登山の数日前から、最新の気象情報で天気や雪の状況などを確認し、ゆとりある計画を立てることが必要**です。さらに、**登山中も常に最新の気象情報を利用し、気象の急変等に備えた適切な判断が何より重要**と強く認識してください。

気象情報の入手先

常に最新の気象情報を利用することが大切です。ラジオやテレビの他、インターネットや携帯端末を利用した情報の入手も可能です。

(公社)日本山岳・スポーツライミング協会のホームページに、以下の入手先等をまとめていますので、御利用ください。

<https://www.jma-sangaku.or.jp/sangaku/?ca=39>



□気象庁ホームページ

警報・注意報、危険度分布、天気予報の他、地上・高層天気図、気象衛星、アメダス、気象レーダー、windプロファイラ（上空の風）等の様々な情報を確認することができます。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



気象庁ホームページ

□国土交通省防災情報提供センターホームページ

国土交通省防災情報提供センターホームページでは、河川、道路、気象等の各種防災に関する情報を見ることができます。

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

また、その一部を携帯端末向けホームページで見ることができます。

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>



防災情報提供センター
携帯端末向けホームページ (Top)

□民間気象会社等のサービス

民間気象会社等では、特定の山を対象に気象情報提供サービスを行っているところがあります。

(詳細は、各民間気象会社等にお尋ねください。)

※火山情報にも注意

火山には、噴気や火山ガスが発生している危険な場所があります。登山する山が火山の場合は、火山にどのような危険があるのかを確認して、登山計画を立てましょう。

気象庁や地元自治体が発表している最新の情報を入手し、十分注意して登山してください。気象庁では、「噴火警報」や「火山の状況に関する解説情報」などを火山ごとに整理した「火山登山者向けの情報提供ページ」（下記URL）を公開していますので登山前には、必ずご確認ください。

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html

また、噴火の発生事実を迅速に発表する「噴火速報」はラジオやテレビ、携帯端末のアプリ等で知ることが出来ます。火山の噴火に気づいた時、噴火速報が発表された時は直ちに身の安全を図りましょう。

(噴火速報の説明：https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/funkasokuho/funkasokuho_toha.html)



火山登山者向けの
情報提供ページ

主な山岳地の登山についての問い合わせ

山 岳	気 象 情 報	山 岳 情 報 ☆印のあるホームページから登山計画書の提出ができます。 ◎印のあるホームページから登山計画書様式をダウンロードすることができます。
主な山域の冬山情報	各地域の情報は地方気象台にお問い合わせ下さい。 http://www.jma.go.jp/jma/index.html	警察庁生活安全局地域課 (03)3581-0141 http://www.npa.go.jp/
北海道全山域		北海道警察本部地域企画課 (011)251-0110 ☆ http://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/chiiki/sangaku/sangaku-top.html
利尻山系 大雪山系 十勝連峰	稚内地方気象台 (0162)23-2678 旭川地方気象台 (0166)32-6368	北海道警察 旭川方面本部地域課 (0166)35-0110 ☆ http://www.asahikawahonbu.police.pref.hokkaido.lg.jp/kakuka/chiiki/anzentozan/anzentozan.html
八甲田山系	青森地方気象台 (017)741-7411	青森県警察本部地域課 (017)723-4211
八幡平	盛岡地方気象台 (019)622-7868 秋田地方気象台 (018)823-8291	岩手県警察本部地域課 (019)653-0110 ☆ http://www2.pref.iwate.jp/~hp0802/oshirase/chiiki/sangaku/sangakusounan.pdf 秋田県警察本部地域課 (018)863-1111
鳥海山系	山形地方気象台 (023)622-2262 秋田地方気象台 (018)823-8291	山形県警察本部地域課 (023)626-0110 秋田県警察本部地域課 (018)863-1111 ☆ http://www.police.pref.akita.jp
蔵王山系	仙台管区気象台 (022)297-8104 山形地方気象台 (023)622-2262	宮城県警察本部地域課 (022)221-7171 ☆ http://www.police.pref.miyagi.jp/ 山形県警察本部地域課 (023)626-0110
飯豊連峰	山形地方気象台 (023)622-2262 新潟地方気象台 (025)281-5871 福島地方気象台 (024)534-2162	山形県警察本部地域課 (023)626-0110 山形県小国警察署 (0238)62-0110 新潟県警察本部地域課 (025)285-0110 ☆ http://www.police.pref.niigata.jp/ 福島県警察本部総合運用指令課 (024)522-2151 ☆ http://www.police.pref.fukushima.jp/
巻機山連峰 苗場山	新潟地方気象台 (025)281-5871 前橋地方気象台 (027)231-2237 長野地方気象台 (026)232-2034	新潟県警察本部地域課 (025)285-0110 ☆ http://www.police.pref.niigata.jp/
谷川岳 草津白根山	新潟地方気象台 (025)281-5871 前橋地方気象台 (027)231-2237 長野地方気象台 (026)232-2034	群馬県警察本部地域課 (027)243-0110 ☆ http://www.police.pref.gunma.jp/
丹沢山系	横浜地方気象台 (045)621-1991	神奈川県警察本部地域総務課 (045)211-1212 ☆ http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesg0004.htm
奥秩父山系	熊谷地方気象台 (048)521-0058 長野地方気象台 (026)232-2034 甲府地方気象台 (055)222-2347	埼玉県警察本部地域総務課 (048)832-0110 ☆ http://www.police.pref.saitama.lg.jp/d0010/kurashi/sangaku.html 長野県警察本部山岳安全対策課 (026)235-3611(直通) ☆ http://www.pref.nagano.lg.jp/police/ 山梨県警察本部地域課 (055)221-0110 ☆ http://www.pref.yamanashi.jp/police/
南アルプス 富士山	甲府地方気象台 (055)222-2347 静岡地方気象台 (054)286-3411 長野地方気象台 (026)232-2034	山梨県警察本部地域課 (055)221-0110 ☆ http://www.pref.yamanashi.jp/police/ 静岡県警察本部地域課 (054)271-0110 ☆ http://www.pref.shizuoka.jp/police/kurashi/sangaku/
北アルプス 中央アルプス 南アルプス 八ヶ岳	長野地方気象台 (026)232-2034 岐阜地方気象台 (058)271-4107	長野県警察本部山岳安全対策課 (026)235-3611(直通) ☆ http://www.pref.nagano.lg.jp/police/ 山梨県警察本部地域課 (055)221-0110 ☆ http://www.pref.yamanashi.jp/police/
北アルプス	富山地方気象台 (076)432-2311 岐阜地方気象台 (058)271-4107	富山県警察本部山岳安全課 (076)441-2211 ◎ http://police.pref.toyama.jp/ 岐阜県警察本部地域課 (058)271-2424 ☆ http://www.pref.gifu.lg.jp/police/
大峰山系 台高山系	奈良地方気象台 (0742)22-2555	奈良県警察本部地域課 (0742)23-0110 ☆ http://www.police.pref.nara.jp/
大山	鳥取地方気象台 (0857)29-1312	鳥取県警察本部地域課 (0857)23-0110 ☆ http://www.pref.tottori.lg.jp/policedaisen/
石鎚山系	松山地方気象台 (089)941-0012 高知地方気象台 (088)822-8881	愛媛県警察本部地域課 (089)934-0110 http://www.police.pref.ehime.jp/ 高知県警察本部地域課 (088)826-0110 ☆ http://www.police.pref.kochi.lg.jp/
脊振山系 多良山系	佐賀地方気象台 (0952)32-7025	佐賀県警察本部地域課 (0952)24-1111 ☆ http://www.police.pref.saga.jp/seian/anzen/matidukuri/_3538.html
屋久島	鹿児島地方気象台 (099)250-9913	鹿児島県屋久島警察署 (0997)46-2110 ◎ http://www.pref.kagoshima.jp/ja10/police/shinsei/sonota/sangakujuhou.html



冬山装備チェックリスト

登山目的にあった装備を持参しよう。(○は必ず持参のもの。△は状況によって持参のもの。)

品名	品名	品名
○ズボン	○非常食	○ツェルト
○シャツ	○救急用品(各種薬等)	○スノーソー
○防寒衣(セーター・羽毛服)	○テーピングテープ	○コンロ
○アンダーウェア上下	○レスキューシート	○燃料・予備燃料
○防風防水透湿パーカ	○テルモス・水筒	○コッフェル・炊事用具
○防風防水透湿オーバーパンツ	○食器類	○ラジオ
○帽子・防寒帽(目出帽)	○ナイフ	○天気図用紙
○靴下(ソックス)・予備靴下	○ホイッスル	○トランシーバー(予備電池)
○手袋(グローブ)・予備手袋	○ヘッドランプ	○標識布・竹
○オーバーミトン	○予備電池・電球	○修理用具一式
○登山靴	○ローソク	○ザイル(ロープ)
○ロングスパッツ	○ライター・マッチ	○カラビナ
○わかんじき	○時計	○スリング各種
○アイゼン	○高度計	△伸縮式ストック
○ピッケル	○コンパス	△ハーネス
○スノーシャベル	○1/25000地形図	△サブザック
○雪崩ビーコン	○ルート図	△テント一式
○携帯ゾンデ棒(プローブ)	○登山計画書	△大型スノーシャベル
○ルックザック	○筆記具	△ランタン
○ゴーグル	○身分証明書	△カメラ
○シュラフ(スリーピングバッグ)	○緊急連絡票	△サングラス
○シュラフカバー	○携帯電話(予備電池)	△油性太字ペン
○マット	○健康保険証	△各種登攀用具
	○ロールペーパー	△GPS
	○タオル・手拭	△携帯トイレ
	○ポリ袋	△ヘルメット
	○装備整理袋	

※この装備リストは冬山の標準的な装備です。対象とする山の難易度、登山方法により必要な装備は変わりますので、事前にパーティーで装備の要否や追加装備の有無をよく検討してください。

忘れない 安全準備と山への感謝

登山計画書(登山届)

年 月 日

御中

目的の山域・山名					
入山日				最終下山日	(予備日含む)
役割	氏名	性別	年齢	住所	緊急連絡先・氏名
	生年月日			電話(携帯電話)	

日程	行動予定
(1) /	
(2) /	
(3) /	
(4) /	
(5) /	
荒天・非常時 対策 エスケイプルート	

◎所属している山岳会・サークルについて記入してください。

団体名 _____

所属 _____ 山岳連盟(協会) 緊急連絡先

代表者氏名 _____

氏名 _____

代表者住所 _____

住所 _____

代表者電話 _____

電話 _____

代表者携帯電話 _____

救助体制 ある (名) なし

搜索費用にあてる保険加入の有無 あり なし

保険会社名 ()

(概念図)

テント(型・人用・張)	
ツェルト(人用・張)	
ロープ(m・本)	
通信機器(台・MHZ)	
食料(日分)	(予備食含む)
非常食(日分)	
燃料(日分)	

(その他連絡事項)

- 提出先** **知事等**(登山計画書の提出が条例で義務化されている場合)
家庭、**クラブ**(山岳会)、**職場**、**学校**など
山域の登山指導センターや**案内所**、**登山口**の登山届ポストなど
山域を管轄する警察本部または**警察署**など
- 注意** 登山計画書を提出したところには、必ず下山の報告をすること
条例に基づく登山届出(提出義務があります)は所定の届出先に提出すること

※登山計画書の記入例については、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会のホームページまで
<http://www.ima-sangaku.or.jp/>